

はじめに

リビングとは

住民のみなさんが中心となって運営されていて、子どもから高齢の人まで、多世代が集い、交流できる地域の居場所です。どなたでも気軽に参加できます。

「ここに来れば誰かと会える」「おしゃべりできて元気になれる」そんな声が
いろんなリビングで聞かれます。

例えば・・・

- ★お茶を飲んだり、お菓子を食べたりします。
- ★参加者同士でおしゃべりを楽しみます。
- ★ボランティアが中心となって、ゲームを企画したり、手作りのものを販売しているところもあります。
- ★集まった人たちで軽い体操をしています。
- ★福祉や医療の専門職員による相談会をしているところもあります。

詳しくはP 5 から、それぞれのリビングの詳細をご覧ください。

子どもの居場所とは

一般的には「子ども食堂」と言われていることが多い、子どもたちを中心とした居場所です。子どもの孤食を防ぐことを第一の目的としながら、世代を越えた住民同士が集い、交流することで、子どもたちを地域ではぐくんでいく取り組みです。

こちらも、どなたでも気軽に参加できます。

「今日のメニューは？」「おいしかった！今日もありがとう」「また来てな」
の声や笑顔があふれています。

例えば・・・

- ★大人と子どもと一緒に料理をします。
- ★一緒にご飯を食べ、後片付けもします。
- ★食事の前後には子どもたちは宿題をしたり、めいめいに好きなことをして過ごします。大人と一緒にトランプなどを楽しむことも。

詳しくはP 5 0 から、それぞれの子どもの居場所の詳細をご覧ください。